

# HopStepJump

<http://toyono-jinjikyō.com/>

7

## 授業づくり③④

—導入・展開・まとめについてⅠ・Ⅱ—  
@大阪教育大学附属池田小・中学校

### ☆豊能地区発～ 初任者と中堅教諭による合同研修☆

豊能地区では初めての初任者と中堅教諭による合同研修が行われました。小学校、中学校共に初任者の先生は緊張感とプレッシャーを感じながらも非常に素晴らしい模擬授業をされていました。研究協議では具体的に細かなアドバイスをもらい、たくさんの気づきと深い学びを得ることができました。

### ☆模擬授業と研究協議☆ 中学校編

模擬授業をするにあたって、一つ一つの言葉の選び方、板書、発問を丁寧にしていかなければいけないと気付いた。インプットの後のアウトプットをさせることが言語活動であると知り、考えが大きく変わった。ゴールから考えることを意識していきたい。(国語)

交流から出た意見を表記するときには色を変える、身近なネタから導入に持っていく。もう少し話すスピードをゆっくり丁寧にしていこうということを他の先生の授業を見て感じた。(理科)

思考力の育成にとられすぎて、形だけのアクティブラーニングになってしまったと反省です。子どもに知識を与え、それらを活用して探求させる授業の構築などが勉強になりました。もう少し校内の社会の先生との会話を増やしていきたいです。(社会)

主体的＝自立した学習、対話的＝もっとこの式の方がよい、深い学び＝思考・態度の変容などアクティブラーニングを進めるにあたっては楽な方へ流れないようにする！！育てたい『子ども像』を明確にすること。(数学)

発声練習の実践をすると、導入で入っていきやすいこともわかりました。バカロレア教育は今までやってきた授業をまるっきり変えていくようなやり方だと思いました。今回授業をさせて頂き、実践授業がテストのための授業になってしまいましたが、中身の問い方やプリント作成法など、とても参考になりました。(音楽)

教師の示し方一つでも子どもの反応は大きく変わる。他の先生の授業をもっと見学したいです。また、教科ごとの研修への積極参加(他市の研修)を希望します。(美術)

他の人の授業を見て、いろいろな授業方法があるんだと勉強になりました。安全な授業を作り上げていきたいです。模擬授業は 50 分間行いたかったです。(保健体育)

今日の研修では他校で実施されている栽培内容の教材や各校で工夫されている授業がよくわかりました。ライトレースカーを用いたプログラム学習なども今後の教材開発の材料にしていこうと思います。(技術)

実際に使用されている教材も今後の参考になるものばかりでとても助かりました。電子黒板を使った授業の資料も見せていただいて、2学期からはパワーポイントも工夫して入れていきたいと思いました。(家庭科)

模擬授業をしてみて、必要のない説明も多くなりがちということがわかりました。実際に授業をする前に自分自身が完璧に準備できている状態を2学期は維持していきたいです。『授業の始めにトピックに関して英作をする』という例が出ていて、是非取り入れたいです。自分オリジナルの文をどんどん作れるようサポートしていきたいです。(英語)

忙しい毎日の中での指導案作りや教材研究は大変だったことと思います。その意欲が模擬授業で発揮できたようで、振り返りシートからは専門性の高い意見交流が行われた様子がよく伝わってきました。先生の中には、実際に授業で使用した資料や材料などを持参して、研修に臨んだ方もおられました。

同期の先生の授業や意見を聞くことで自身の課題を知り、改善に繋がり積極的に学ぶ姿勢が更に生まれたことは今回の研修のねらいでもありました。学校内でも遠慮せず、教科担任や同学年の先輩先生に質問をしてください。



## ☆算数の授業づくりと研究協議☆ 小学校編

わかりやすく説明してあげられるようにしないといけないと思いました。自分には何度も言い換えてしまう癖があるのでなおしていこうと思います。(中学年)
本当に一人で毎日悩みながら授業をしているので、他の先生方の模擬授業を見ることができてよかった。(低学年)
普段は特定の子にばかりフォーカスを当ててしまい、楽しくない子もたくさんいると思うので、全体を見通して授業づくりをすることが大切だと思いました。(低学年)
先輩の先生方から何通りもの方法や教え方、課題の出し方を教えて頂いて、子どもの実態や教材によるという発言が何度もありました。自分のクラスでどう活かせるか選択し、挑戦していきたいと思いました。(低学年)
授業では学ばせたいことを子どもたちに気づかせるためのしかけがとても大切だと思いました。子どもを褒めるということや子どもの意見を聞く雰囲気大切だと他の先生の授業を見て気づきました。(低学年)
どうすれば子ども達がより多くの発見をする体験ができるか、もっと活動量を増やせるか自分自身の課題も多く見つかりました。動作を取り入れる指示も授業を飽きさせない工夫だと感じました。(低学年)
同じ単元を授業するのにも、様々な切り口や方法、その人のカラーが出るのだと実感しました。(中学年)
導入を工夫することによって、子どもたちが意識的に取り組めること、表情がにこやかだと授業を受けたいという気持ち芽生えること、視覚から入ることによって理解することができる子もいることを理解しました。(低学年)

## ☆午後の算数模擬授業について☆

子どもたちの意見を選んで前に提示することでスムーズに授業が進んでいたのも真似をしようと思いました。(5年)
模擬授業全ての動作が一人一人クラス全体を見通した丁寧なものであったと思いました。児童それぞれの意見に対してすべてに返して(返事をして)あげていたところに、子どもは安心感を感じると思いました。(3年)
授業ではメリハリが大切だと思いました。子どもたちに無理のないテンポで、授業を進めて行くことの大切さも実感しました。(1年)
自分の立場を明確にして考える力をつけさせることが大切だと感じました。(3年)
子どもたちへの声のかけ方が子どもたちで作りに上げていく手立てになっていて、参考にしたいと思いました。(3年)
必ずしも板書は左から始めるのではない。前時と比較させたいときは中央から始めるとよい。(3年)

## ☆音楽・図画工作・体育の授業づくり☆

ペアで課題に取り組み達成感を味わえることが体育の楽しさだと感じました。(体育)
単純な飛び方でも友達と協力することですごく難しい技になるのでクラスでも取り入れたいと思った。(体育)
子どもの主体的な学びのために必要なことを、自分自身が学ぶことができました。教師がルールをひいて最後まで誘導するのではなく、子どもたち同士が褒め合い学び合っていく姿が大事なのだと改めて知らされました。(図工)
先生は必要な指示のみで私たち(児童役)は夢中になって取り組んでしまっていたので、一度でもこのような授業をしてみたいと思いました。(図工)
子どもたちにも楽しいと思えるような時間、そしてその中でしっかり学ぶべき内容が入っていると授業としても成り立っていくのだと思いました。(音楽)
生の音にこだわって必死にピアノを弾いていましたが、CDの力も借りて自分も一緒に楽しむ姿勢も大切だと気付きました。(音楽)
体育の授業が全然うまくいかず今回体育を選択しました。『子どもたちがこうなって欲しいという姿』を描くことを意識したいと思います。(体育)
筋を伸ばさない簡単な運動を取り入れる。(体育係が前でするものではない)跳び箱や鉄棒はグループで行って友達ができる達成感を。(体育)